

4・5月のイベント

★映画「高野豆腐店の春」上映会

“豆腐は人生の処方箋” 広島県尾道を舞台に描かれる、愚直で職人気質の父と明るく気立てのよい娘の心温まる愛情のつまった物語

出演：藤竜也 麻生久美子 中村久美

日時：4月26日(金)

上映時間：①10:30 ②14:00 ③18:30

(開場は各回30分前)

場所：埼玉会館小ホール

参加費：1000円(電話割引・当日精算券持参)

(当日) 一般1200円/学生・障がい者・シニア

[60歳以上] 1000円/小中高生800円

お問合せ・電話割引受付：埼玉映画文化協会

電話・048-822-7428

FAX・048-824-3263

★「武力で平和はつukれない！ とりもどそう憲法いかす政治を 2024憲法大集会

日時：5月3日(金・休) 11時～

※メインステージ13時開始

場所：東京・有明防災公園(東京臨海広域防災公園)

(りんかい線「国際展示場駅」より徒歩4分

ゆりかもめ「有明駅」から徒歩2分)

13時～メインステージ

メインスピーチ 伊藤真さん(伊藤塾塾長・弁護士)

／猿田佐世さん(新外交イニシアティブ(N)

代表・弁護士) 市民連合あいさつ～リレートーク

14時半～16時半 パレード開始・クロージング

主催：平和といのちと人権を！

5.3憲法集会実行委員会



日々想

以前にも書いたが99歳一人暮らしの伯母を介護している。その伯母が、雨の降る日に一人で買い物に出て転び、救急車で運ばれた。目立つケガも無いからとその場は検査だけで家に帰されたが、夕方になり、検査の結果溶連菌が見つかったので明日入院しろと言われたらしい▼「らしい」というのはこれらの顛末を姪の私が見たのが、もともと伯母の所へ行く予定だった翌日だからだ。なぜすぐ知らせないかとなじる姪の言葉もどこ吹く風で、せつせと入院準備にいとまがない▼結局、病院までの介護タクシーの手配も新聞や介護食の配達中止も、お掃除のヘルパーさんやお世話になってる近所さんにも留守を頼み終わって、ただオロオロするだけの姪を従えて入院した▼今、新聞を読めなくなった伯母が毎日のように聞くことがある。それは「世界中の戦争は終わったか」「世の中は良くなったか」。それが今、切なくもあるし、ちよつとしたえている。(ち)

うらわ宿文芸

川柳

小説より奇なりな人生誰にでも
丁寧な説明つまりはおしつけね
スマホメガネ心もどこかに置いたまま
(前地三 御前)

手みやげは大軍拡と輪島塗
彦星がシンクタンクと比べられ
屋根覆う桜が主の空き家かな
(上木崎 とと犬)

俳句

二分咲の花に冷たき雨止まず
いつまでも二人を逐(お)うや春の月
春帽子選ぶ間の至福かな
(本太 まこ)

つばくらや水平線は空にとけ
子雀の引っぱり合える青きもの
揚雲雀子も手庇しといふことを
(本太 山下ゆりこ)



日本共産党浦和区後援会ニュース
2024年4月号
浦和区北浦和3-14-16
TEL/FAX 048-833-4515
***** (部内資料) *****

赤旗がなけりゃ裏金裏のまま(「赤旗」川柳) 「しんぶん赤旗」日曜版の スクープから始まった裏金事件

解明なき幕引きは許されない

自民党は4日、不記載・誤記載があった裏金議員85人のうち、39人の処分を決定しました。しかし、岸田文雄首相や二階俊博元幹事長などの派閥のトップの処分はなく、不記載額500万円未満の議員の処分は見送るというもの。岸田首相が会長を務めていた岸田派は、約3000万円の裏金づくりで元会計責任者が有罪となっています。二階派は約2億円の裏金づくりで会計責任者が在宅起訴されています。

裏金システムがなぜ必要だったのか。裏金は何に使われたのかの真相解明をしてこそ処分があるのではないのでしょうか。小池晃書記局長は4日、国会内で記者会見し、「真相解明抜きのお手盛りの『処分』は処分の名に値しない。こんなことで幕引きを図ろうとすることは許されない」と批判し、今回の裏金づくりは政治家の問題ではなく、自民党ぐるみの組織的な犯罪行為だと指摘しました。裏金事件は自民党の金権体質から噴出したもので、今回の処分は「もみ消し」そのものであり、到底納得できるものではありません。

高をくくっているなら大間違い

「国民は長々やって忘れる」と高を括っているとしたら大間違いです。最新のJNNの世論調査では、「政権交代をのぞむ」の声が自・公政権継続を大幅に上回り、4月5日～8日の時事通信の世論調査では岸田内閣の支持率は16.6%になり、政権発足以来最低を更新。忘れるどころか国民の怒りは日々沸騰しています。疑惑の解明を置き去りにしたまま幕引きをすることは許されません。

自民党政治を終わらせ希望の時代を

日本共産党は6日から7日の2日間、第2回中央委員会総会を開催しました。田村智子委員長は報告の中で、裏金事件が自民党政治の全体を根底から揺さぶる一大事件に発展している。今回の事件は特定の政治家のワイロと違い、自民党の主要派閥がかかわる組織的犯罪と断罪。「国民には1円単位で納税を迫りながら、自分たちは裏金疑惑か」国民からは暮らしの困難と一体に怒りが広がっていると指

摘しました。また、第三国への戦闘機などの輸出など歴代自民党政権が憲法にもとづく「平和国家の理念」としてきたものを全て投げ捨てる岸田政権の暴走を批判しました。

田村委員長は、女性委員長の誕生が歓迎されていることも紹介し、現在まさに「末期的な危機に陥る自民党、国民に希望ある政治を示し期待を高めつつある日本共産党」の状況が生まれており、日本共産党の躍進と総選挙での躍進を勝ち取る歴史的チャンスであることを強調しました。

そして、歴史的なチャンスを大きな共産党づくりと総選挙での勝利に結びつけていこうと、第2回中央委員会総会では、全党員に向けての「手紙」を力に旺盛な取り組みをすすめていくことが確認されました。

真実を報道する 「しんぶん赤旗」をぜひ

お申し込みは、お近くの後援会
員か日本共産党さいたま地区委
員会まで(048-641-1561)

日刊紙 月/3497円
(本体3238円)

日曜版 月/930円
(本体861円)

めぐみの目 新人議員 池田めぐみのコラム

議員の仕事は、今日で終わりじゃない

市議選は、昨年4月9日が投票日でした。「人が寄ってこない選挙は勝てません」という敏行さんからのアドバイスを受けて臨んだ選挙は、本当にたくさんの方に応援していただき、心から感謝しています。この1年間、浦和区6445人の方の代弁者だと思って取り組んできました。嬉しいお知らせがあります。18歳までの医療費が無料になったこと。お出かけ支援制度が実現すること。ネット安心条例が制定されたこと。そして公約に掲げてきた24時間使えるAEDを増やす！という取り組みは、市内全中学校の正門にAEDが設置されたほか、市のAED設置のガイドラインが18年ぶりに改正されることになりました。今後、公共施設のAEDは、池田めぐみが提案した「屋外型収納ボックス」を使うことで、24時間使えるAEDが増えることとなります。最初は、学校のAEDは職員がいない時はガラスを割って持ち出し使用してほしいと言っていた教育委員会や、屋外設置なんて今あるAEDを維持するだけでも大変でできませんと言っていた地域医療課も、「24時間使えるAEDが必要」と認識し、他市の事例も調査し、態度や答弁が変わっていきのを体感しました。行政は、動かすことができると信じています。

一方で、さいたま市議会60人の議員のうち、ほとんどが

与党。自民、公明はもちろん、立憲民主、無所属みらい、さらに日本維新の会も市長派です。市長が提案した議案には、反対しません。「なんでも反対共産党??」とんでもない！いいものはいいと、この2月議会では市長提出議案90件のうち75件に賛成。国保税や介護保険料の値上げの予算議案など15件に反対しました。この1年を通し、新人として感じたのは、ほかの会派は、なぜ市民目線でなく市長や行政の側で意見をいうのだろう。ということです。大型開発への青天井の予算も、レジャープール削減も、3700人の義務教育学校も、高齢者施設グリーンヒルうらわ廃止も、学校でのスクールダッシュボード拙速な導入も、与野中央公園ミニアリーナ建設も、地下鉄7号線延伸に1300億円投入することも、一般市民から「ちょっと待った！」という声があがっても、ほとんどの議員は仕方がないこととして、市長の決定をそのまま進めていきます。何度も討論に立ちながら、他会派の方とのすれ違いに、悔しい思いをしました。総合政策委員会でも、もっと上手に質問できたのでは？もっと当事者を守れたのでは？と、質問のあと階段で号泣したこともあります。でも、諦めません。行政は、「住民福祉の増進」が仕事。議会は、「言論の府」です。

先日、会派の先輩から言わ

毎週金曜日の夕方は、浦和・北浦和・与野駅と場所を変えて街頭宣伝



れました。「池田さん、議員の仕事は今日で終わりじゃないよ。諦めずに、次の議会、次の議会でチャレンジしていこう。」その言葉に救われました。学びながら頑張ります。

先日、映画「オープンハイマー」を見てきました。原爆の父と呼ばれたオープンハイマーを描く3時間の超大作。賛否ありますが、私は、見終わったあとすぐには立てず、涙が止まりませんでした。あの瞬間。爆音！ではなく、一瞬音が消えます。心臓がバクバクしました。反戦映画だと思えます。ぜひ、観てみてください。さいたま市議会では「核兵器禁止条約に批准するよう国に求める請願」が何度も出されていますが、他会派の反対などで不採択です。政治に携わるものとして、できること。あと3年間。市民に寄り添って、ハートに問いかけ仕事をしていきます。まだまだ強くなりたいです。

浦和区後援会総会行われる

3月19日(火)午後、今年度の浦和区後援会総会が行われました。各地域後援会の世話人からそれぞれ1年間の報告と今年の抱負が話されました。どここの後援会も、池田さん初当選の効果で市議会の傍聴や市政報告

会が活発に行われたこと、今年これで満足することなく、池田市議と共に市の行政についての新たな要望や要求活動に取り組んでいきたいとの意見が出されました。

全体として今年の方針を、

①池田めぐみさんと共に新たな活動にチャレンジしよう。②共産党についての学びを後援会としてさらに取り組んでいくこと。③「うらわ宿」を活用できる紙面に改善し、読者を増やす。④後援会財政の安定化。⑤バスツアーの再開などを目指し楽しく魅力的な後援会に。とし、今年度役員とともに承認されました。

なお、総会には池田市議、共産党から浦和区委員会事務局長の山本仁さんがゲストとして出席、それぞれ後援会への謝意と今年の抱負を表明しました。

2024年度後援会役員は次の通りです。

会長：丹生淳郷

事務局長：古澤英二

事務局次長：倉林徹・小川洋夫

・田中昌子

会計：阿久津妙子

怒喝の窓

裏金自民 39名処分なのに・・・!

「おい、岸田! ブラックバックヤード二階だけ何故逃げたのか? しっかりしていねいに説明する責任があるぞ(怒)」



楽しかったお花見会 浦和東後援会

6年ぶりに再開したお花見会は、市立病院裏手の三室さくら広場で3月24日に行いました。自然の中で食べ、飲める醍醐味は人をリラックスさせストレス発散の場になりますね。というわけで17名で味わってきました。桜はまだつぼみ、天候も気にしながら、そこは「花よりだんご」です。ただ、今までと違うことは折りたたみイスを用意しなければならなかったことです。

スタートは鳥海敏行さんの挨拶があり、現在の情勢や地区委員会での仕事も増え忙しく頑張っていることなどを話されました。その後各自が自

己紹介をしているところに、自転車でかけつけた池田めぐみ議員、木崎後援会とかけもちでした。詩吟あり、民謡あり、またシニア向け桜に関するクイズ、みんなで盛り上げました。

池田さんからは、1年を振り返って嬉しかったこと、悔しかったことなどの話がありました。

嬉しかったこととしてAEDが全中学校に屋

外設置され、また公共施設でも屋外設置をガイドラインになったこと、SNSでの誹謗中傷に「ネット安心条例」ができたことをあげ、皆様の励ましや応援に感謝しました。

地域の皆さんとコミュニケーションがとれ、有意義な時間だったと思います。最後リクエストで「沖縄を返せ」をみんなで歌い、散会しました。

(馬場)

